

111 A - リヨン政治学院では、冬休みの後、特別な状況の中で学生たちが授業を再開しました。

リヨン政治学院（Sciences Po Lyon）では、冬休みの後、学生たちが特別な状況の中で授業を再開しました。今回の新学期は、2月12日に若い活動家であるカンタン・デランクさんが亡くなった出来事の後という、緊張した状況で始まりました。この事件は、同校で行われた講演会の周辺で発生しました。

この出来事以降、校内の警備が強化されています。校舎内には複数の警備員が配置され、学生は建物の入口で学生証を提示しなければなりません。また、外部の人の侵入を防ぐために、カバンの検査も実施されています。

こうした対策について、安心感を覚える学生もいます。授業に戻ることに不安を感じていた学生もいましたが、これらのチェックによって安全が確保されていると考えています。

しかし、この状況は家族、特に保護者にとって大きな不安の原因となりました。SNSでの情報を見て、リヨンに戻ることを心配する声もありました。

事件後、学校側は多くの脅迫の電話を受けたと述べています。SNS上では、一部の学生が批判されたり、個人情報公開されたりすることもありました。単に講演会に参加しただけにもかかわらず、大きな圧力を感じているという証言もあります。

学生たちは、Sciences Po Lyonがさまざまな政治的意見を持つ講演者を招く政治学の教育機関であることを強調しています。彼らは、表現の自由を守り、あらゆる立場の人々を受け入れ続けることが重要だと考えています。

さらに、新たな警備対策に加えて、心理的な支援を提供するための相談窓口も設置されました。

111 B - 要塞、時計製造、美食… 多くの魅力を持つ都市ブザンソン

ブザンソンは、フランス東部のフランシュ＝コンテ地方に位置する都市です。この町は、歴史的遺産、時計製造の技術、そして地域の食文化で知られています。ドゥー川の曲流に囲まれ、大きな要塞（シタデル）が街を見下ろしており、毎年多くの観光客を引きつけています。

街を観光するには、17世紀にヴォーバンによって建設されたシタデルに登ることができます。ルイ14世に仕えたこの軍事建築家は、丘の地形に合わせて設計を行いました。この要塞は、敵の攻撃から街を守るために岩の上に建てられています。現在では、この建造物は重要な観光地となり、毎年約30万人が訪れています。

ブザンソンはまた、時計製造の町としても有名です。この都市はフランス時計産業発祥の地とされており、この技術はユネスコの文化遺産にも登録されています。

市内の工房では、職人たちが今でも機械式時計を丁寧かつ正確に製作しています。これらの時計は、時間を測るために左右に揺れる振り子など、伝統的な仕組みに基づいています。

さらに、この町は地域の食文化でも知られています。市場では、フランス国内外で人気の高いコンテチーズを見つけることができます。モルビエやモンドール、カンコワイヨットなどのチーズもこの地域の特産品です。この溶けるチーズは、ジャガイモと一緒に食べられることが多いです。

食事には、地域特有の燻製ソーセージを加えることもできます。これらの料理は、フランシュ＝コンテ地方の豊かな食文化を味わうことを可能にします。

111 読解問題

1. なぜリヨンの新学期は特別な状況の中で始まったのですか。
2. 学校ではどのような警備対策が導入されましたか。
3. なぜ一部の学生の保護者は不安を感じているのですか。
4. 事件の後、SNS 上では何が起こりましたか。
5. なぜ学生たちは講演会を開催したいと考えているのですか。
6. ブザンソンはどこにありますか。
7. ブザンソンのシタデルを建設したのは誰ですか。
8. なぜブザンソンは時計製造の分野で有名なのですか。
9. この地域で最も代表的なチーズは何ですか。
10. カンコワイヨットは通常、何と一緒に食べられますか。